

【NEWS RELEASE】

2020年5月29日

各位

株式会社三井住友銀行

株式会社モスフードサービスに「ESG/SDGs評価融資」を実施

株式会社三井住友銀行(頭取 CEO:高島 誠)は、株式会社モスフードサービス(代表取締役社長:中村 栄輔)に対し、「ESG/SDGs評価融資」を実施いたしました。

「ESG/SDGs評価融資」は、株式会社三井住友銀行と株式会社日本総合研究所(代表取締役社長:谷崎 勝教)が作成した独自の評価基準に基づき企業のESG(1)側面の取組や情報開示、SDGs(持続可能な開発目標)(2)達成への貢献を評価し、取組や情報開示の適切さについての現状分析、今後の課題、課題への取組事例などを還元させていただく融資商品です。

今回の株式会社モスフードサービスに対する評価結果は、「環境配慮型製品・サービスにおける取組」、「ローカル/グローバル・コミュニティへの配慮」、「企業理念・サステナビリティへのコミットメント」において高い水準であると判断されました。企業経営において優れたESG側面の取組と情報開示を実施されており、また、事業を通じたSDGs達成への貢献意欲が高いとの評価となりました。

ESG側面の取組、情報開示では、以下の点等が評価されました。

1972年の創業当初からドリンクの陶器カップでの提供や、2006年から持ち帰り用のポリ袋の削減と紙バッグの導入、2017年からエコマーク「飲食店」認定店舗の取組を行う等、環境に配慮した店舗運営を他社に先駆けて実践されている点

モスファームを通じて、現地の生産者との協働で、生産技術の向上のほか、耕作放棄地の有効利用や後継者育成、新規就農者支援等にも取り組んでおられる点

2019年4月に社会共創(SDGs)グループを設置し、本業を通じた社会的課題解決に向けて取り組むべき重要課題を特定するなど、ESGの視点で新たな企業価値を創造するためのマネジメント体制を強化しておられる点

加えて、事業を通じて「健康に寄与する食の提供」や「地域に密着した店舗運営」、「環境負荷の低減」等に取り組むとし、SDGsが示す「目標3:すべての人に健康と福祉を」「目標11:住み続けられるまちづくりを」「目標12:つくる責任 つかう責任」等の達成に向けて明確な意欲をお持ちです。

三井住友銀行では、「ESG/SDGs評価融資」により、お客さまのESG/SDGsへの取組を、金融を通じて支援してまいります。



モスファーム栽培のトマト



エコマーク
認定店舗

「飲食店」認定エコマーク



お持ち帰り用紙バッグ

<ご参考>

1 ESGとは

ESGとは環境（Environmental）、社会（Social）、企業統治（Corporate Governance）の頭文字を取ったものです。いずれの側面も企業が事業活動を展開するにあたって配慮や責任を求められる重要課題として考えられています。

2 SDGsとは

Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称。国連総会で採択された、新興国だけでなく先進国等あらゆる国と地域が、貧困や平等、教育、環境等、「誰も取り残されない世界」の実現を2030年までに目指す17の目標と169のターゲットのことです。

以 上

このニュースリリースは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。